

1945
2012
1 / 15

府職の友

発行所/大阪府関係職員労働組合
〒540-0008 大阪市中央区大手前2-1-59
電話 06(6941)351・内線3740
直通06(6941)3079 FAX06(6941)4541
Eメール info@fusyokuro.gr.jp
URL http://www.fusyokuro.gr.jp
発行人/橋口紀塩 編集人/田中克義
(1部10円 組合員の講読料は組合費に含まれています。)

2012国民春闘 働くルールを 確立しよう

第91回府職労定期大会 —— 第7回病院労組定期大会

「仕事」「府政」を語る運動すすめよう



府職労は、2011年12月15日に第7回定期大会を開催しました。午前中は、府職員労働組合第91回定期大会、府立病院機構労働組合第7回定期大会を開催しました。

選挙勝利で独裁体制をいっそう強めようとする橋下「維新の会」による府政運営のもとにあっても、府民が大切にされる府政と、職員がやりがいをもって働き続けられる職場の実現をめざす取り組みを、すべての組合員・職員参加と府民との共同ですすめることを決意する大会となりました。

開会あいさつで橋口委員にも困難を生んでいる。自長は、「日本でも非正規労働者が半数近くを占め、貧困と格差をなくし、労働者全体の底上げを」「職員削減・非正規化によって、住民のいのちと暮らしを守る。最近線が削られ、震災復興

府民との共同広げ、2条例案撤回を

府職労は、2011年12月15日に第7回定期大会を開催しました。午前中は、府職員労働組合第91回定期大会、府立病院機構労働組合第7回定期大会を開催しました。

選挙勝利で独裁体制をいっそう強めようとする橋下「維新の会」による府政運営のもとにあっても、府民が大切にされる府政と、職員がやりがいをもって働き続けられる職場の実現をめざす取り組みを、すべての組合員・職員参加と府民との共同ですすめることを決意する大会となりました。

住民との共同で、当面する2条例撤回はじめ、要求実現へ奮闘しよう」と呼びかけました。

討論では、午前・午後合わせて26名の代議員からの発言があり、限界を超えた人員削減や、病院での看護師不足や2人夜勤体制等で、府民の安全・安心と職員の健康が脅かされている実態の告発、業務民間委託や独立行政法人化、府営住宅半減、公衆衛生の重要性、T P P問題など府政と仕事の

運動の前進に確信、 看護師確保へ抜本的改善を

府立病院労組第7回定期大会



府立病院労組は12月15日午前中に第7回定期大会を開催し、運動方針を決定しました。大会の冒頭、芝山委員長は「昨年6月に厚労省が『看護師等の雇用の質確保に関する通知』を出したことは運動の成果であり、確信をもってその内容の実現に向け、たたかいを進める」とあいさつしました。

また、大阪医労連の染原書記長から連帯のあいさつがありました。

大会は、議長に吉岡千代子さん(呼吸器C)、大会運営委員長に吉岡あや子さん(成人病C)を選出し、

経過報告、運動方針、決算・予算、要求書などを圧倒的多数で承認・可決しました。

各支部の発言は、どの病院でも看護師の確保が厳しく、病院当局の不誠実な対応の実態が報告され、各支部での交渉で一部は改善させているが、抜本的な改善に向けたたたかいの必要性が語られました。

また、新人事評価システム試行に対する問題点が浮き彫りになり、チーム医療を進めるうえで支障が発生している姿が明らかになりました。

府市統合による府立病院と市立病院の経営統合の問題もあり、公立病院のあり方を含めて議論と運動を進めることを確認しました。

遊歩道

今年度の定期大会は橋下府政のもとでも、正々堂々と真正面からたたかってきた府職労運動に確信を持ち元気の出る大会となった。▼活発な討論に共通するのは、過酷な労働条件の中にあっても、府民の願いにこたえる仕事をしたいという職員の公務労働に対する思い、私達の要求実現も府民の安心・安全と暮らしを守る住民共同のたたかいがあることだろうか。▼例えば、成人病センター移転反対の闘いでは、地元町会との懇談、説明会で住民の立場から発言をする中で、地域住民との信頼関係が深まり、公務員に対する見方も変化しました。▼

いま、橋下「維新の会」は、「職員・教育基本条例」案を、公務員に対する悪いイメージを利用して、強行に条例制定を狙っていますが、このたくらみを打ち破るのも、自治体のあり方や、公務員の本当の姿を住民に知らせ、共同してたたかうことが大きなカギです。

▼「いまの状況がみんなに伝わる方法をみんなと一緒に考えたい」という青年の発言に、一緒に考える「仲間」をもっと増やし、もっと府民の中に入っていく、そう思った今回の大会でした。

(T)

職場環境改善へ 仲間づくり



種池代議員
(母子保健総合医療センター)

今年4月、分娩部に19名増の回答があったが、人員は欠員で2人夜勤が続いている。

分娩件数は1600件以上に加え、食事・トイレなどで8時間走り続けるのはあたりまえで、24時間勤務するスタッフもいる。

深夜勤で分娩部に応援に行ったが、8人が陣痛でお産を待っており、深夜で5人が産まれ、他の陣痛で待っている人が手薄になる。地域の患者さんの健康はどうか、職員の体も心もボロ

ボロという状況だ。少しでも働きやすい環境にするために、組合に入ってもらって、みんなでたたかっていたい。

人員増による 事業の充実を



福田代議員
(女性部)

12月14日に女性部団体交渉を行った。

賞金、勤務時間、人員、特別休暇などについて重点的に交渉した。

15分時短になったものの2部勤のため、業務や府民サービスにも支障が出ていることや人員削減による恒常的な残業実態を示し、「府民サービスというなら、わ



職員基本条例案 は撤回を



菅代議員
(土木現場支部)

東日本大震災による長期支援や台風12号による支援などで現在も職員を派遣している。

支部は、これらの実態に見合った人員増を求めているが、当局は「所属マネジメントで」と責任転嫁し、

わずか15分の開庁のための2部勤ではなく、人員増による事業の充実が大事だ」と追及した。

また、学童保育の送迎が必要になっている実態も示し、保育特休の復活とあわせ、就学後の児童への制度も要求している。

職場に入って 知らせよう



残業が増大している。

職員は予算減のもと、府民の要望に心えられず、メタル不全者も増えている。

職員基本条例は、職員の協力体制を崩し、技術の伝承もできず、スキルダウンにつながるもの。

災害に強い街づくり、府民の安全を守る仕事をするために職員基本条例案撤回に向け奮闘する。

長時間夜勤の2交代制が導入された。2交代勤務を希望する職員もいるが長時間労働による体への負担が大きくなっていることは間違いない。もっと働きやすい職場になるようみんなに訴えていきたい。



大会宣言する森藤代議員
(急性期)



遠山代議員
(急性期・総合医療センター支部)

職場まわりをする中でいろいろな相談を受け、当局に改善を求め実現したことで、組合加入につながっている。職場での対話を通じて、自分たちの労働条件や権利のことを知らない職員も多くなると感じた。もっともっと職場に入って、知らせていくことが必要と強く感じている。

大阪都構想や条例について、まわりの友達や家族に話したが、「公務員だからそう思うのでは」と言われ、うまく伝わらない。平日の昼間のパチンコ屋には、やる気なさそうに千円札を入れてる若い子がたくさんいる。彼らにも伝わり、関心を持ってもらえるよう

みんなに伝える 工夫を



川西代議員
(呼吸器・アレルギー医療C支部)

「もう一回戦争があれば、人生を一からやり直すことができる」という率直な青年の声があると聞いた。低賃金や不安定雇用である非正規の職に就くことを余儀なくしてはならない。いまこそ、働くルールの確立が求められている。

青年の閉塞感、政治不信につながり、その結果、先のダブル選挙でも二セ改革者への支持に流れた。2部勤の撤回のたたかいで、府民への影響などを具体的に示し、共同を広げなければならぬ。

具体的に知らせ 共同広げよう



大原代議員
(府税支部)

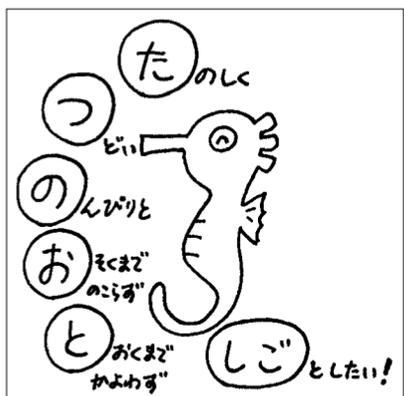
な方法をみんなできいっしょに考えていきたい。



故は琵琶湖を直撃する。できないことが実証されたものは「想定外」ではない。制御できないことが想定内なら、今すぐ稼働している原発を止め、停止中の原発は廃炉にすること。これが急務だ。(土木現場支部・西野健造)

・橋下「維新」が勝ち、これからの仕事について、また、大阪市民としてくらしについて不安ばかり。2012年は笑顔になれる年になりますように。(土木現場支部・高橋幹子)

・東京では、毎週末にはどこかで原発のデモがあるそうだ。つい最近(12月8日)でも、美浜2号機のトランプル停止があったが、関西でも反・原発が盛り上がっている。福井の原発事



クロスワード 12月号の解答と当選

答え 笑顔の復興祈る除夜

当選者

- 奥野 伸一 豊能府税事務所
- 左近 康弘 食の安全推進課(分室)
- 西野 健造 岸和田土木事務所
- 田中真折子 和泉保健所
- 鶴田 静枝 富田土木事務所